

一般社団法人 千葉県社会福祉士会
第5回定時総会議事録

1、開催日時 平成29年6月18日（日）13時30分～14時45分

2、場 所 ホテルリブマックス千葉美浜 大会議室

3、出席者 会長 渋沢 茂
副会長 奥野 不二子
副会長 大浦 明美
事務局長 岡本 武志
会員理事 樽林 元樹
山口 利史
竹嶋 信洋
浅見 雅人
小川 晴雄
鈴木 勝英
川上 鉄夫
常陸谷 政彦
監事 山口 定之
岡本 崇広
出席代議員 42名
(内訳：出席者 22名、書面表決者 20名)

4、次第

(1) 開会

(2) 会長挨拶

(3) 議長選出

(4) 議事

第1号議案 平成29年度補正予算について

第2号議案 平成28年度事業報告および決算報告について
(平成28年度監事監査報告書)

第3号議案 役員の選任について

【議事録】

●開会発声

(奥野副会長) 定刻となりましたので、ご着席ください。理事席、代議員席と傍聴者の席は分かれております。代議員でない方は、会場廊下側の傍聴席へおかけください。これより一般社団法人千葉県社会福祉士会第5回定時総会を開催致します。尚、総会終了後は、「代議員名刺交換会」を開催予定です。ぜひご参加ください。

●会長挨拶

(渋沢会長)

会長となってから丁度1年となった。前回3月の臨時総会後のご報告含めてご挨拶させていただきます。

まず、ささえあい制度について、今年度、一旦負担金徴収中断することが承認され、現行ささえあい制度の残金が600万円弱あるので、今後に向けて残金は、ばあとなあとそれ以外の方へ振分けし、ささえあい制度については、ばあとなあに限定した運用へ変え、要綱も変更予定である。

8月5日にばあとなあ臨時全体会でも意見交換予定である。ばあとなあ以外の会員も参加可能となっているので関心のある方はご参加ください。

3月の臨時総会の際、社会福祉士処遇改善についてのアンケートを行ってはどうかと代議員の方からご意見いただいた。又、代議員制度についての見直しも理事会の中で話し合われている。初めての試みである意見(名刺)交換会の際も、ぜひご意見いただきたい。

司法書士や弁護士は会に入っていないと活動が出来ないが、一体となって専門性を高めるという意味では向かう方向が様々、色々である社会福祉士は他とは違うと思っている。

又、MSWは社会福祉士の有資格者がとても多く、社協センターの建替えも決まったようである。平成33年から34年の運用開始予定のようなので、今後一緒にやっていけないか、MSW会長ともそんな話をしている。

昨日、日本社会福祉士会総会に出席した。会長他役員の交代があった。認定社会福祉士という制度があり、今後7000人位に増やしていきたいと話されていた。(会場内の出席者に認定社会福祉士資格取得の意向を聞いたところ、希望者は1名のみであった)

本日は、ぜひ忌憚ないご意見をお願いしたい。

●議長選出

(奥野副会長) 係の方は、議場閉鎖を願います。議事に移るに当たり、議長の選出を行う。定款24条に基づき、渋沢会長に議長の選任をお願いする。

(渋沢会長) 竹嶋理事に議長をお願いしたい。

●議長就任

(竹嶋理事) 只今、議長に選任されました。円滑な議事進行にご協力のほど。

●定足数の確認

(竹嶋理事) この総会の定足数と出席者数の確認を行います。事務局から報告をお願いしま

す。

(岡本事務局長) 代議員の定数は49名。定足数は、「一般社団法人千葉県社会福祉士会定款第25条の規定により、代議員総数の2分の1以上。従って、定足数は25人以上となる。次に、出席者数の報告。本日会場にご出席いただいている代議員は、22名。書面による表決者数は20名で総数は42名。出席者数が定足数を満たしているので、この総会は有効に成立することを報告する。

●開会

(竹嶋理事) 定足数を満たしており、この総会は成立する。総会の開会を宣言します。議事録は、事務局が記録作成する。

それでは、議事に入る。

具体的な議事については「総会資料」をご覧ください。説明者は、ポイントとなる点について、説明をしてください。目次の順番に従って議事を進行します。第1号議案から、事務局より説明をお願いします。

●審議事項

議案第1号 平成29年度補正予算について(総会資料P1)

(岡本事務局長) 平成29年度補正予算について、総会の承認を求める。

まず、平成28年度第1回臨時総会で承認された、規則第5号負担金規則の変更にに基づき、負担金納付中断決定により補正後予算額を0円とした。

更に、居住確保支援事業については、受託決定額を補正後予算額とした。

質疑

(森脇代議員) 居宅確保支援事業は平成29年度からの受託事業であれば、専任人員を考えているのか?

(渋沢会長) P28に報告しているが、平成28年4月から受託している事業で平成29年度は2年目である。昨年度当初から常勤雇用支援員1名、10月から1名支援員増員して業務にあたっている。1年目で実績を上げ、松戸市より高評価を得、今年度は増額の受託となった。会として支援員をバックアップして続けて行きたい事業である。

(竹嶋理事) では、第1号議案について、採決に移ります。定款第26条の規定により、平成29年度補正予算についての採決は総会出席者の過半数の賛成が必要となります。第1号議案に賛成の方は、挙手をお願いします。

質疑応答後、採決 賛成22名、書面表決賛成20名、合計42名で承認された。

議案第2号 平成28年度事業報告および決算報告について(総会資料P2~39)

(岡本事務局長) 平成28年度事業報告および決算報告について、総会の承認を求める。

・平成28年度事業報告について、従来からの活動を粛々と進めてきた中、新たな試みとしては、子どもの貧困問題に活動の幅を広げ、子ども食堂を千葉県社会福祉協議会他と一緒にイベントも開催した。

・会員名簿の作成発行を行い、会員同士連携の強化・情報共有に向けて一石を投じられたのではないかと。今後の展開はこれからの課題である。

・総会を2回、理事会を8回開催。理事会開催時間は2時間位、平均19名の理事が出席した。議事録は会のホームページに公開している。今後については、より分かり易い報告として、広報誌「点と線」等での報告も検討している。

・その他活動について説明、総会資料の通りである。

・各委員会事業報告について説明、総会資料の通りである。

・千葉県生涯研修センターを設置、センター長を渋沢会長として今後開催していく。

・倫理委員会について、苦情受付の体制整備の準備をしている。日本社会福祉士会の対応に則り整備していく予定である。

・平成28年度決算報告について説明、総会資料の通りである。

(竹嶋理事) 決算報告について、監事より監査報告をお願いします。

(山口監事) 5月14日(日)午後より平成28年4月1日から平成29年3月31日までの平成28年度会計の監事監査を事務局で行った。まず総会添付資料の監査報告書を確認いただきたい。

監査後の口頭コメントを報告する。

・正味財産期末残高は、約565万円増加しており、総額は単年度支出額を超える額となっている。予算編成および執行にあたり、収支の再検討が必要であると伝えた。

・予算編成および補正予算について、総会議決事項であるため、補正の機会が少ないことが一因ではあるが、予算額と決算額に乖離の大きい事業が散見される。確定した都度、補正予算編成が望ましいと伝えた。補正予算議決を法に則り、理事会議決事項とすることも今後検討対象としても良いのではないかと伝えた。

・委員会部会の構成メンバーが記載されているところとされていないところが混在している。どんな方が活動されているか、記載で統一が望ましいのではないかと伝えた。

(渋沢会長) ささえあい制度についての補足説明をさせていただく。総会同封資料は、3月臨時総会の際にお約束した収支調査報告である。負担金納付中断はしているが、制度自体を止めているわけではないので、申請を受理し委員会で配分決定を今年度も行う予定である。今年度に配分後の残高を、先に申しあげたように、ばあとなあとそれ以外に振り分けて次年度以降予算執行していく予定である。

(篠田代議員) 平成28年度事業報告なのにP8、P9に平成29年度の日付の活動が載っているのは何故か。

(岡本事務局長) あくまでも平成28年度中に活動等が決まり、後援承諾や推薦他事務作業を行った報告のためである。次回より見直して検討する。

(服部代議員) 積み上がっている剰余金について、研修会の受講料を値上げする話が出ていたりするのに、一方ではどんどんお金が余っているという報告。何らかの納得できる使用予定が示されていれば良いが、計画も特に無い。これは中々納得できないのではないかと。一つ提案として、一定額を公益活動基金の原資として考えても良いのではないかと。

(岡本事務局長) 今後の課題であるが、予算作成の段階では決して黒字を見込んでの計画では無い。予算案の作成にあたっては事業が多岐にわたっており、隅々まで理解が行き渡っていないところもある。各委員長とも予算段階で参加費も含めよく話し合い、改善見直

しについては前向きに検討していきたい。又、監事からご助言の補正予算を理事会での議決事項とすることも今後は検討していきたい。

(渋沢会長) 総会資料には出ていないが、社団法人から一般社団法人に移行する際、その時点で残っている資産を公益目的支出することを千葉県に計画提出している。対象は、ぱあとなあの公益事業と災害対策委員会の事業であるが、当初の計画通りに支出されておらず、午前に理事会でも議題として取り上げており、次回理事会でも今後の公益目的支出の見直しについて話し合う予定である。服部代議員のご提案、その通りである。新しいことも含め、みなさまと相談して進めていきたい。

(池田代議員) 千葉県社会福祉士会は、一般社団法人であるが、公益目的事業について今後考えていく上で、公益社団法人を目指す気持ちはあるのか？

(渋沢会長) 千葉司法書士会は公益法人であるが、千葉司法書士会からの会員外理事より事務処理が大変になるとも聞いている。今の体制で事務量を増やしてまで公益法人に移るメリットは、現在の会には無いのではないかと思う。今のところ考えていないが、それについてのご意見はいただいきたいと思っている。

(竹嶋理事) では、第2号議案について、採決に移ります。定款第26条の規定により、平成28年度事業報告および決算報告に関する事項の採決は総会出席者の過半数の賛成が必要となります。第2号議案に賛成の方は、挙手をお願いします。

質疑応答後、採決 賛成22名、書面表決賛成20名、合計42名で承認された。

議案第3号 役員を選任について (総会資料P40)

(岡本事務局長) 役員(会員外理事) 辞任による、役員選任について、総会の承認を求める。日本ソーシャルワーク教育学校連盟より、山下 興一郎氏をご推薦いただいた。

(竹嶋理事) では、第3号議案について採決に移ります。本議案につきましても、採決は総会出席者の過半数賛成が必要となります。第3号議案に賛成の方は、挙手をお願いします。

採決 賛成22名、書面表決賛成20名、合計42名で承認された。

●議事終了

(竹嶋理事) 以上で、総会の議案及び報告事項は終了しました。円滑な議事進行にご協力頂き有難うございました。

●閉会

(奥野副会長)

皆様、議長お疲れ様でした。以上で、一般社団法人千葉県社会福祉士会第5回定時総会を閉会とします。

議事録記名押印

会長	渋沢 茂
副会長	奥野 不二子
	大浦 明美
事務局長	岡本 武志
会員理事	樽林 元樹
	山口 利史
	竹嶋 信洋
	浅見 雅人
	小川 晴雄
	鈴木 勝英
	川上 鉄夫
	常陸谷 政彦
監事	山口 定之
	岡本 崇広

●事務連絡

(岡本事務局長) 続きまして、代議員のみなさまと交流会を行いますので、ぜひご出席ください。

以上をもって議事全部を終了し、14時45分閉会した。